

富合町

ふれあいネットワーク



社協だより

第26号

平成18年2月15日発行

富合町社会福祉協議会

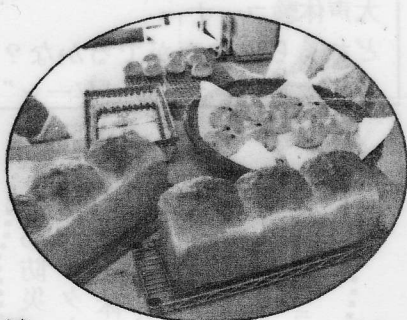
下益城郡富合町清藤 405-3

富合町役場内

TEL/FAX 357-2939



いらっしやいませ。工房にお客様がいらっしやいました。どれにしましょうか？



ホッカホッカ、焼きたてバノ

ほちほちパン屋の なずな工房

富合町杉島にあるパン屋さん「なずな工房」は障害を持つっている方の社会参加を支援しています。
パンの仕込から販売まですべて自分たちで行います。パンが焼きあがると、かわいいシールを貼ったパン袋に詰め、販売に出かけます。もちろん、工房での販売もやっています。とてもおいしいパンです。どうぞお気軽にお越し下さい。



手をきれいに消毒し、1個ずつ丁寧にパン袋に入れます。

賛助会員加入のお願い

「障害を持っていても地域の中で暮らしたい」そんな願いを実現するため、パン作りや販売を中心に色々な活動を行い、その人の持っている可能性を伸ばし、働く意欲や喜びをもって生活してもらいたい。そして、一人一人の地域生活が広がっていくよう支えたい。

賛助会員としてご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。 <http://www.nazuna.or.jp/sub1.htm>

個人 2,000円 (一口) 法人 10,000円 (一口)

「なずな工房」富合町杉島 1163-5

TEL/FAX 096-358-3806

富合町

●障害者の講演聞

く 30日、富合小(宇野哲博校長)で5年生65人が、杉島にあるパン屋「なすな工房」で働く東矢芳枝さん(28)＝城南町＝の話聞いた。児童は昨年、同工房を見学。働いている障害者の話を聞こうと企画した。東矢さんは「障害があるから一人では何もできないと思っていたが、一人でバスに乗って買い物に行ったことで自信を持った。いろいろなことに挑戦したい」と述べた。荒木脩成君(11)は「段差をなくすなどして、障害のある人も使える場所が増えるといいな

— と思った」と話した。

富合町

ふれあいネットワーク



社協だより

第 31 号

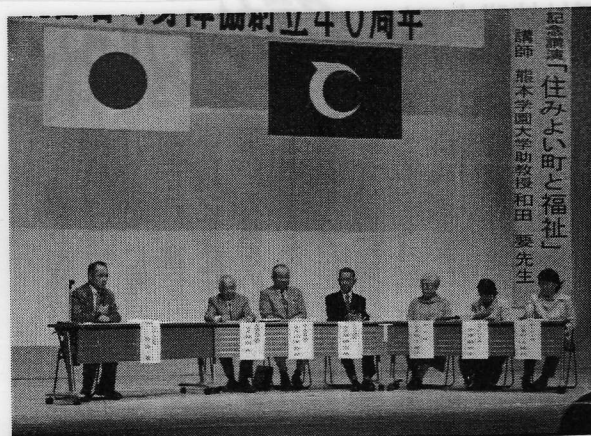
平成 18 年 11 月 15 日発行

富合町社会福祉協議会

下益城郡富合町清藤 405-3

富合町役場内

TEL/FAX 357-2939



左より、和田助教授、身障協会長、民生委員会長、老連クラブ会長、婦人会長、平原福祉員、なずな工房代表

四十周年記念行事

「住みよい町・富合」

福祉講演会と

パネルディスカッション

11月11日(土)に熊本学園大学助教授、和田要氏が「富合町と福祉」をテーマに地域とともに生きるということについて講演されました。また、童謡クラブによる合唱や富合中学校の3人の生徒の福祉体験作文の発表があり、パネルディスカッションでは、和田氏のコーディネートで6人のパネラーが各々の意見を述べられました。

下益城郡富合町杉島の住宅地。明るい黄色の地に「なずな工房」と緑色で書かれた、のぼりがはためくパン工房がある。そこで障害のある利用者とともにパンを焼く村上佳代さんは「また、あしたね」と言いつて手を振りながら帰っていく利用者たちを見送るとき、充足感に包まれるという。

村上さんが無認可の小規模作業所として「なずな工房」を開設したのは二〇〇三年四月。「地域の中で暮らしたいという障害のある人たちの願いを、一緒になつてかなえたい」。そんな気持ちからだった。

村上さんは熊本学園大の学生ころ、ボランティアで障害者施設を訪問しているうち、将来の職業として福祉を考えるようになったという。経済学部だったが「職業にするなら知識も必

要」と卒業後、東京の専門学校で福祉について学び、神奈川県

の知的障害者施設に就職した。

そこで渡された資料には、担当する障害者について、それまでの障害や生活の経緯、両親の思いなどがつづられていた。読めば読むほど責任の重さを感じた。その責任に応えようと心掛けたが、「この人には理解してもらえない」と判断したのか話を聞いてくれなくなる障害者もいた。十分な対応ができない自分に腹立たしく、涙を流したこともあった。

だが落ち込むことばかりでもなかった。家族から虐待を受けたが、半年ほどたったある日、散歩に誘うと後を追ってきて手を握ってくれた。ちよつと寒い冬の日だったが、心が温まるのを感じた。



「地域に出てパンを売ることを通して、利用者さんたちは対人関係などに自信をつけていく」と語る村上佳代さん
(右)＝富合町のなずな工房

障害者たちとパン工房 村上 佳代さん(40)＝下益城郡富合町

その施設で五年過ごした後、両親がいる熊本に帰郷。また別の障害者施設で働いた。そんな中、「障害のある人たちが施設の中でなく、地域で暮らすことを支えたい」という思いが強まっていた。パン作りを選んだのも「通ってくる障害のある人たちが、いろんな所でパンを販売すれば人と接する機会にもつながる」と考えたからだ。

三十四歳で退職。空き店舗探しを始めたが、なかなか思うような物件は見つからなかった。見るに見かねた両親が「結婚したら近くに住んでほしい」と用意していた土地を貸してもいいと言ってくれた。工房の建築も何力所からも見積もりをとっているうち、村上さんの気持ちに理解を示した工務店が格安で応じてくれた。オープン、冷蔵庫などの備品はすべて中古品でそろえた。それでも、十年間働いて蓄えた貯金と退職金を全部はたいても足りず、数百万円の借金を背負った。

工房を始めて三年半。最初は二人だった登録者が、いまでは十人を超えた。今年十月、宇城地域の二市三町から地域活動支援センターの委託を受け、障害者とともに毎日、二十種類ほど



開設で背負った借金 悔いを残すことなく

のパンを焼き、役所や学校、病院、老人ホームなどで販売している。スポーツ大会の参加賞などに、まとまった数のお菓子の詰め合わせを注文してくれる地元企業もある。

工房には午前九時ごろ、知的身体、精神の障害がある利用者たちが通ってくる。一日の利用者は十人ほど。にぎやかな工房で、村上さんはオープンでパンを焼きながら配達の間までパンが出来上がるよう全体に目を配る。

出来上がったパンを販売に行くのを楽しみにしている利用者も少なくない。中には工房内や販売先で人と接するうちに自信を深め、就職へとつながっていく利用者もいる。

最近では「パン屋さん」と呼ばれることもある。村上さんはその響きがうれしくもある。「障害のある人たちが、サービスを受ける側ではなく、自分たちで作ったパンを売る立場にいると社会から思ってもらえているんです」

利用者たちが家路に就くのは午後四時。その姿を見届けると、「きょうも一日、皆を支えることができた」と感じるという村上さん。利用者が帰った後も、後片付けや翌日の準備など仕事は続く。

毎朝五時に起き十二時間以上働く日々。収入も減っていたころの三分の一以下に減った。それでも「始めていなかったら、今も迷い続けていたでしょう。そして、私の人生に悔いが残っていたと思う」。明るく笑った。

(中原克也)

269号 (日刊)



発行所
熊本日日新聞社
〒860-8506
熊本市世安町172
代表(096)361-3111
© 熊本日日新聞社 2006

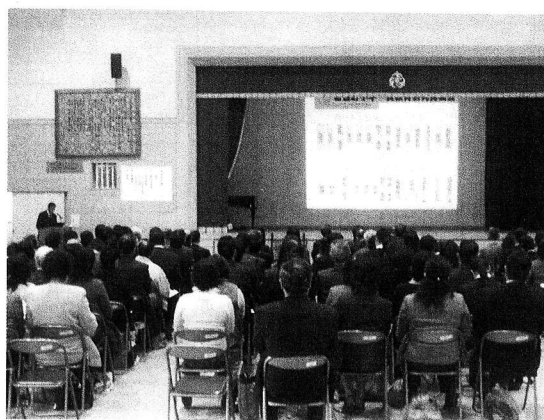
11月20日
(月曜日)

平成18年

小中一貫教育研究発表会



第 95 号
発行所
富合小学校 P T A
広報委員会

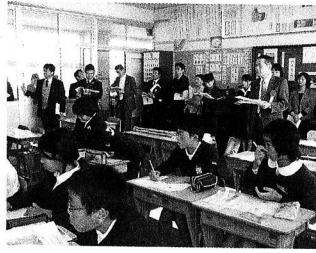
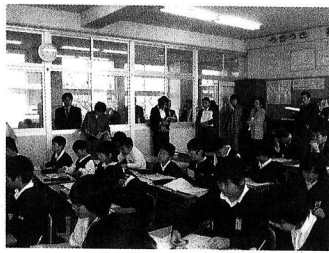
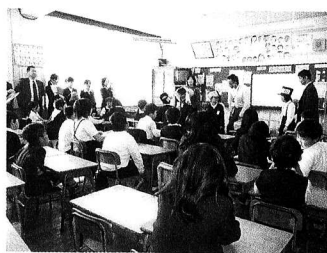


盛会だった 小中一貫教育 研究発表会

教 頭 中富 玲子

十一月十五日(水)は、小中一貫教育の研究発表会が開催されました。当日は朝早くから P T A 応援隊の皆さんに道案内や駐車場整理、受付、接待などをしていただきました。午前中は体育館で全体会があり、本町の小中一貫教育と研究の内容について、小中の担当から発表がありました。続く公開授業では、基礎教科である国語(2の2・6の2)算数(4の1・6の2)国際科英語(3の1・6の2)の四つの教科・領域で、それぞれ中身の濃い

を発表会の随所で示すことができて大変嬉しく思います。自主発表会でありながら総勢240名を超える参加者があったことは、富合の教育に対する関心の現れだと思えます。富合町で教育を受けることに子どもたちが誇りを持つて、未来に大きく羽ばたけるように今後も職員が一体となつて取り組んでいきます。今後もご支援ご協力を宜しくお願いいたします。



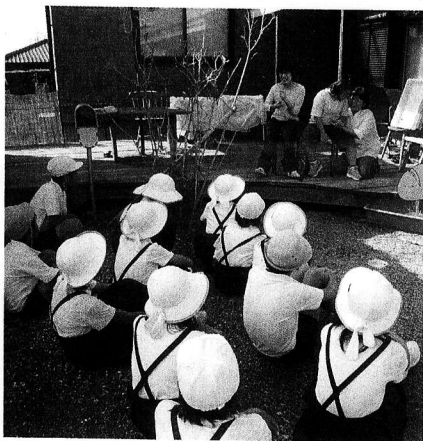
“なずな工房”の方との交流

5年生 生き方創造科

私は、なずな工房へ行って、障害はあるけれどもみんながそれぞれがんばってやっていることが分かりました。私もなずな工房の人のように明るく行動できればいいなと思いました。



今日、訪問させていただいて初めて分かったことがあります。それは障害があってもくじけず、パン屋という責任のある仕事を一生懸命できる、また気持ちがいいな人がバンを作っても、人を笑顔にできると分かってよかったです。感動しました。



考えようエイズのこと

6年生 生き方創造科

募金
お願
い
します

12月3日、宇土シティイベント広場において、「世界エイズデーイン宇城」に参加しました。昨今までは小学6年生主体で行われていましたが、今年からは中学1年生が主体ということで、6年生は、募金活動での参加となりました。これまで、生き方創造科の授業で、エイズについての本を読んだり、インターネットで調べたり、H I V に感染されている樹さんとの交流を通して学んだ事を、他の人達に少しでも理解をしてもらおうと、寒さを吹き飛ばすような大きな声で、募金を呼びかけていました。



平成18年度城南町・富合町学童陸上記録会

祝大会新記録



6年女子800M
笠 晶さん



6年男子400Mリレー
河北勇太君・村上順哉君
福嶋宗士君・三角皇志郎君

大会結果

種 目	名 前	順 位	記 録
5年男子100m	那須 悠靖	1位	14"9
5年女子100m	中野 誠子	3位	15"5
6年男子100m	村上 順哉	1位	13"5
6年男子100m	河北 勇太	2位	13"9
6年男子100m	福嶋 宗士	3位	14"1
5年男子1000m	那須 悠靖	1位	3' 29"8
6年女子800m	笠 晶	1位	2' 40"4
6年女子800m	野口 晶織	3位	2' 46"3
5年男子走り幅跳び	後藤 海里	1位	3m85
6年男子走り幅跳び	村上 順哉	1位	4m21
6年女子走り幅跳び	栗崎 夢乃	2位	3m58
5年男子ボール投げ	東 勇次	1位	46m57
5年女子ボール投げ	草野 さつき	1位	31m57
5年女子ボール投げ	藤本 奈央	2位	30m15
6年男子ボール投げ	木村 倖晴	1位	57m45
6年女子ボール投げ	吉田 優菜	1位	38m10
6年女子ボール投げ	江藤 由那	3位	36m41
5年男子400mリレー	豊田 東 後藤 那須	2位	1' 01"1
6年男子400mリレー	村上 河北 福嶋 三角	1位	54"9

第24回 宇城小体連陸上競技大会 上位入賞者

種 目	名 前	順 位	記 録
6年男子100m	村上 順哉	1位	13"1
6年男子100m	河北 勇太	4位	14"0
6年男子100m	福嶋 宗士	5位	14"2
5年男子1000m	那須 悠靖	4位	3' 20"3
6年女子800m	笠 晶	5位	2' 40"6
6年女子800m	野口 晶織	6位	2' 41"2
5年男子ボール投げ	東 勇次	3位	47m38
5年女子ボール投げ	草野 さつき	4位	35m08
6年男子ボール投げ	木村 倖晴	3位	58m50
6年男子400mリレー	村上 河北 福嶋 三角	2位	54"6

地域活動支援センター

なずな工房

理事長 村上 佳代

なずな工房は、平成15年4月、自宅を開放し障害ある方々とパンを作る小規模作業所・ほちほちパン屋さんとしてスタートしました。NPO法人格を取得、平成18年からは障害者自立支援法における地域活動支援センター（宇城2市3町から委託）となり毎日パンを作っています。

はじめは、ほとんどの人がパンを作った経験がありませんでした。失敗を重ね、販売ができるパンが作れるようになるまで繰り返して作り、少しずつ上手になってきました。販売先で自分の作ったパンが売れるとうれしく、パン作りがもっと楽しく、接客にも自信が出てきます。利用者みなさんに、なずな工房での感想を聞いてみると、「いろんな人と会えることが楽しい」「パンを作ることがおもしろい」「自分の作ったパンがゼーンぶ売れることがうれしい」「笑うことがたくさんある」と返ってきました。障害があることで、悩むこと、困難なこともありま

す。それでもいろいろ楽しむことが起こる毎日です。

これまでも精神・身体・知的障害のいづれかに関わらず、パ

ン作りを通して社会の中にいたいという方は受け入れて来ました。これからも同様に、障害の種類には関わらず、より多くの方にきて頂き、喜びを得て充実した一日を過ごせる場でありたいと思っています。

そうして、その生き生きとした姿を見てもらうことで、地域の方々に障害について理解を深めて欲しい、また交流の場をたくさんつくることで地域の中で共生を目指したいと考えています。

なずな工房では、多くの仲間を待っています。障害のある方も、お手伝いをしてくださるボランティアの方も募集中です。ぜひ気軽に、まずは見学してみませんか？ホームページもあるので、こちらのものぞいてみてください。

なずな工房

富合町杉島1163-5

TEL・FAX096-358-3806

<http://www.nazuna.or.jp>

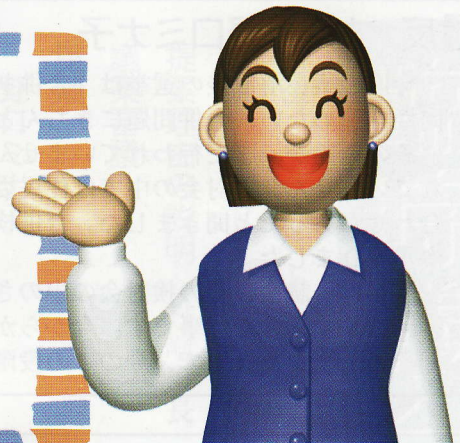


議会を傍聴しませんか

次回は12月20日・21日に
開催されます。

日程の詳細については議会事務局へ
お問い合わせ下さい。

TEL096-357-4111



編集後記

日々の流れは速く、今年は本号をもって最後の「議会だより」となります。旧年中に引き続き、合併問題に関しましては、町民の皆様にはご心配をお掛けしております。

前号に記しましたとおり、本年六月に合併検討委員会が設置され協議を進めて参りました。

十一月十日に答申が議会に提出され、各議員はそれを重く受け止め、それぞれの判断をしたしだいです。

熊本市では幸山氏が市長に再選され、それを受け臨時会が開かれ、熊本市との法定協議設置案が可決されました。

合併に向け、やつと一歩踏み出した感があります。これからは町民が安心して暮らせるような合併協議会が進められるものと思います。皆様には遂次経過をお伝えしていきます。

今回は合併検討委員会の結論と臨時会での法定協議会設置案の行方を待つて発行いたしました。

編集委員長 小山 一美



朝刊

発行所

熊本日日新聞社

〒860-8506 熊本市世安町172

代表 表(096)361-3111

©熊本日日新聞社 2008

4月14日

(月曜日)

H20

14日にオープンするなすな工房―富合町



おいしいパン作ります!!

障害者運営の工房落成

富合町

障害者がパンを製造、販売する「なすな工房」の落成式が十三日、下益城郡富合町清藤の同所であり、約三十人が完成を祝った。十四日にオープンする。

同町杉島でパンの製造、販売を手がける障害者の小規模作業所を運営

してきた特定非営利活動法人なすな工房（村上佳代理事長）が、一般客が買い求めやすいよう国道3号近くの民家を改装して、製造施設と店舗を新たに設けた。

工房は、障害者自立支援法に基づき就労継続支援B型施設で、障害者十

二人が登録。約三十種類のパンを製造する。

落成式では村上理事長があいさつ。出席者からは「地域に愛されるパン作りを」と祝いの声が寄せられた。

（福井一基）

合同消防訓練

地域の安全を守っています。

総合応援協定区間の富合町杉島・御船手付近の住宅密集地の火災防御に対処するための訓練を10月10日(月)10時、加勢川左岸(御船手)で実施。参加したのは西消防署川尻出張所、宇城広域連合北消防署、消防団第75分団(富合)及び第50分団(川尻)。富合町からは杉島、上杉、大町が参加。

合同指揮本部設置訓練、情報収集及び伝達訓練、無線通信訓練、ポンプ中継送水等が実施され、各団員は緊張の中、きびきびと訓練を続けていました。



気持ちを合わせて



しっかり勉強



加勢川左岸に集合

新幹線フェスタ 2011 in 熊本

10月30日 雨模様でしたが、多くの見学者で賑わいました。



跨線橋から見たまつりの様子



なすな工房
パンはいかがですか！



富合商工会女性部の笑顔
富合町からは5店舗出店

宇城広域連合からのお知らせ

うき・宇城エコフェスタ2011

日 時：平成23年11月27日(日)
10時～14時

場 所：宇城クリーンセンター

内 容：☆リサイクル品大抽選会
☆フリーマーケット
☆子ども太鼓
☆エコ川柳作品展示
☆エコクイズ 等

○軽食コーナーもあります

問合せ先 宇城広域連合

電話(0964)32-4153

環境問題をみんなで考える機会に！



クリスマス mini パーティー



主催 宇城広域連合結婚活動支援センター

○パーティーの参加者を募集します。

日 時：平成23年12月11日(日)
14:00～(13:30受付)

場 所：宇城広域連合

参加資格：宇城管内に済む20歳～40歳の独身男性
20歳以上の独身女性(管内外問わず)

参 加 費：1,000円

定 員：男・女15名ずつ

応募方法：電話受付(応募多数の場合は抽選)

募集期間：平成23年11月14日～11月25日 9:00～17:00

受付・問い合わせ 電話 0964-32-4144

宇城広域連合結婚活動支援センター 担当 村上



合併後の富合町の人口。熊本市統計課のホームページより

	世帯数	人口	男性	女性
平成23年10月	3,096戸	8,615人	4,102人	4,513人
平成22年10月	2,958	8,363	3,974	4,389
平成21年10月	2,817	8,173	3,866	4,307
平成20年11月	2,741	8,092	3,845	4,247

11・12月行事予定

11月24日	資源ゴミ拠点回収
12月6日	心配ごと相談 行政相談
8日	資源ゴミ拠点回収
14日	特設人権相談

・あ・と・が・き・
中学校の学習発表会で、多くのことを感じ、学びました。収穫が終わり、軒下にはつるし柿。冬を迎える富合です。
広報部会(野口)

お・知・ら・せ

熊本市社協富合支所の事務所が11月に1階から2階に移転しました。新事務所は現総務課のお向かいです。新しいカウンターでお待ちします。



発行所
熊本日新聞社
〒860-8506
熊本市世安町172
代表(096)361-3111
© 熊本日新聞社 2011年

認可)

第24

2011年(平成23年)

3月10日

木曜日

塩トマト、ミカン、ショウガ、とんこつ……

「熊本の味」クッキーに



熊本市のホテル熊本テルサは、塩トマトなど県産品を使った6種のオリジナルクッキーを、九州新幹線鹿児島ルート全線開業日の12日から発売する。開発・製造は地元の福祉施設とのコラボレーションで、「障害者が丁寧につくった熊本の味」を新たな土産品として打ち出す考えだ。

福祉施設と 共同で開発

九州新幹線の
全線開業合わせ

県産品を使って共同開発した6種のクッキーを手にするホテル熊本テルサ、ライン工房、なすな工房のスタッフら＝熊本市

県産品を使って共同開発した6種のクッキーを手にするホテル熊本テルサ、ライン工房、なすな工房のスタッフら＝熊本市

クッキーはライン工房のほか、NPO法人なすな工房(同市富合町)でも製造。一袋130～150円で、同ホテルと県庁地下売店で販売する。(小多崇)

に仕上がった。

ライン工房の利用者で試作に加わった富永美幸さん(26)は「どれもおいしく、全種類お勧めです」と話していた。

同ホテルが福祉施設と連携し、商品開発したのは初めて。社会福祉法人ライン工房(同市戸島)の塩クッキーをレストランのデザートとして昨夏に採用、好評だったことから、共同で新商品を開発することになった。

カライモなど10種以上

の県産品で試作を重ね、このうち厳選した

ミカン、ショウガ、ブルーベリー、とんこつ

など6種を商品化。か

らしみそ入りの生地を

れんこんの薄切りで挟

んだ「からしれんこん

クッキー」は、見た目

も風味も本物そっくり

に仕上がった。

ライン工房の利用者

で試作に加わった富永

美幸さん(26)は「どれ

もおいしく、全種類お

勧めです」と話してい

た。

クッキーはライン工

房のほか、NPO法人

なすな工房(同市富合

町)でも製造。一袋13

0～150円で、同ホ

テルと県庁地下売店

で販売する。(小多崇)

2011年(平成23年)3月10日(木)

熊本テルサとライン工房などで開発したクッキー



特産品でクッキー開発

ホテルと障害者施設が共同で

からしレンコン、塩
トマトなど郷土料理や
特産品を使ったクッキ
ーを、熊本市のホテル
と障害者らの就労施設

が共同開発した。「熊本の新しいお土産になれば」と、九州新幹線が全線開業する12日から発売する。

熊本テルサとライン工房、なすな工房が製造・販売するクッキーは、他にショウガ▽ミカン▽ブルーベリー▽とんこつ——の全部で6種類。ライン工房ではパンや焼き菓子などを製造しており、十数種類の中からテルサ社員と試食を重ね「自慢の味」と「熊本らしさ」を選んだ。とんこつ味は紅しょうがや高菜も入り、白ゴマの風味が

特徴。からしレンコンはレンコンチップスでからしみそ味のクッキーをはさみ、酒のつまみにもなるような味に仕上げた。

354枚入りで1305150円。担当したパティシエの伊織敦子さん(28)は「シリーズ化して長く愛されるお土産にしていきたい

い」と話している。

【結城かほる】



開業まで
あと2日



MAINICHI



新毎日

3月10日(木)

2011年(平成23年)

発行所：北九州市小倉北区紺屋町13-1

〒802-8651 電話(093)541-3131

毎日新聞西部本社

福岡市中央区天神1 毎日福岡会館〒810-8551

電話(092)781-編集3100 事業3636
販売3221 広告3300

毎日新聞福岡本部

しちやいましたシリーズ [140円/税込み]



とんこつ

辛子蓮根

野菜シリーズ [150円/税込み]



しょうが

塩トマト

果物シリーズ [130円/税込み]



ブルーベリー

Case 1

ホテル
熊本テルサ

パティシエと開発した 6種の手作りクッキー

熊本テルサと授産施設がコラボ

レーションしてクッキーを開発!!

そのきっかけは何だったのでしょうか。熊本テルサのパティシエである伊織敦子さんは言います。

「熊本テルサでは現在、カレーをはじめとするお土産の商品開発をしています。その中で、熊本の特徴を生かした新しいお菓子を」ということでクッキーが案としてあがりました。以前、ライン工房さんのクッキーを食べて美味しいなと思っていたので、これは一緒に商品開発ができるのではと感じたの

です」。

コラボレートする相手はなんとプロのパティシエ。ライン工房の本田和也さんは当初、戸惑いを隠せなかったようです。「一般企業とのコラボレーション自体が初めての取り組みで、しかもお話があったのは立派なホテル。普段からクッキーやパンを製造しているのですが、今回はレシピも一から開発を行いましたし、果たして期待通りのものが出来るのか、最初は不安が大きかったですね。しかしスタッフや利用者の方々と話し合い、『とりあえずやってみよう』ということになって。利用者の方々と力を合わせて頑張っているという結論に至りました」。

企画から商品化に至るまでの期間は約半年。「果物」「野菜」「特産品」シリーズをそれぞれ2種ずつ制作しようと決め、完成したのはブルーベリー、みかん、塩トマト、しょうが、辛子蓮根、とんこつの6種類。種類によって制作が難しい部分も出てきたため、なずな工房もコラボレーションに加わることに。ライン工房、なずな工房とも何度か試作を重ねたといいます。



「特に塩トマトやしょうがが人気。クッキーのみを買いに来るお客さん多いくらい」と伊織さん

「素材には乾燥野菜・乾燥果物、あるいはジャムを使い、多いもので一種類につき10回近くも試作しました。利用者の方々にも普段とは違う作業をお願いしたので、一個一個がチャレンジでした。完成してほっとしました笑」と本田さん。一方、なずな工房の村上佳代さんは「揚げた蓮根のチップを何回も伊織さんに試食してもらって、食感に関するアドバイスをもらうのですが、プロの感覚に近づけるのが難しくて。最終的には伊織さんが自らなずな工房の厨房に入ってもらって、アドバイスしてもら

いながら作り上げました。利用者の方は蓮根を1日に100枚以上一つ一つ揚げてもらいましたが、技術がだんだん上がっていくのが分かりました」。



クッキーは熊本テルサ全館、熊本県庁地下売店、道の駅大津で購入することができます

社会の中で広がっていく、新たな出会いの輪



ミミーのパンパカパン☆ミミー草野

今日のミミーのパンパカパンは熊本市南区富合町にあります

「なずな工房」というお店におじゃましました！



クリーム色の縦長いかわいらしいお店ですよ♪

お話はお店の責任者の村上佳代さんに伺いました！



カテゴリ

[komatsu's キッチン \(55\)](#)

● [ジャンケン・リクエスト \(7\)](#)

● [スタッフ日記 \(1105\)](#)

● [ミミーの取材日記 \(861\)](#)

● [ラジたま オススメの本！ \(58\)](#)

● [ラジたま オリコミ川柳 \(718\)](#)

● [ラジたま 音楽の逸品 \(32\)](#)

● [九州情熱人2013 \(15\)](#)

● [次回の川柳、なぞかけ \(239\)](#)

■ [九州情熱人2014 \(2\)](#)

[カテゴリを追加 \(47\)](#)

[九州情熱人2012 \(17\)](#)

[天草豚料理プロジェクト \(9\)](#)

＜ 2014年6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

最近の掲載記事

[ミミーのパンパカパン☆ミミー草野](#)

[アロハ〜](#)

[阿蘇カラクリ研究所 福山裕教さん](#)

[〇〇プロデュース「エッグアート」☆ミミー岩本](#)

[6月15日 本日の金玉賞](#)

[挫折](#)

[映画を嗜む](#)

[4年](#)

[ミミーの結婚さんいらっしゃい☆ミミー草野](#)

[お詫び](#)

[→\(旧\)小松士郎のラジオのたまご](#)

皆さんからのコメント

。 [挫折](#)
まぐ 06/17



商品はこちら！



★Ustreamはこちら



Twitterはこちら



ラジパラはこちら



ポッドキャスト

検索

☎ [「小松士郎のラジオのたまご」を購読](#)

お問い合わせ

小松士郎のラジオのたまご

毎週月曜～金曜

午後2時30分～6時00分

パーソナリティ:

小松士郎

村岡章子

野溝美子

本田恭子

須藤あき

メール: tama@rkk.jp



お店にはウインナーパン、ピザパン、カレーパンなど20種類ほどのパンがあるそうです。

人気はメロンパン！私の握りこぶしより一回り小さい大きさのものが2つ入ってます。

外側さくとしていておいしいです(^^)パンは全て100円なんですよ～！



パン以外にもラスクやマドレーヌもありました！こちらもおいしそうです(^^)



実はこちらのパン屋さんは16名の障害のある方が手作りで作ってらっしゃるお店です。

パンを作るところから販売まで皆さんニコニコ笑顔で頑張ってらっしゃいました！

なずな工房という店の名前も野に咲く花のように障害があっても強く生きて欲しい！という

想いが込められているそうです。



お店ができて11年、これからたくさんの方々に美味しいパンを届けてくださいね

みなさん今日はありがとうございました！

これからもパン作り楽しんでくださいーい(^^)

[駱駝](#) 06/17

[raditama](#) 06/16

[駱駝](#) 06/16

◦ [映画を嗜む](#)
[赤いオーケストラ荒木](#) 06/15

◦ [4年](#)
[赤いオーケストラ荒木](#) 06/14
[酒水のブルービー](#) 06/13

◦ [6月13日 本日の金玉賞&今週の最優秀金玉賞&来週のお題](#)
[酒水のブルービー](#) 06/13

◦ [6月6日 本日の金玉賞&今週の最優秀金玉賞&来週のお題](#)
[まぐ](#) 06/07

◦ [父の日の贈り物何にしますか？](#)
[酒水のブルービー](#) 06/04

◦ [でぶい](#)
[赤いオーケストラ荒木](#) 05/30

◦ [5月23日 本日の金玉賞&今週の最優秀金玉賞&来週のお題](#)
[ワイフの財布](#) 05/23

◦ [〇〇プロデュース〜八代ひこいち](#)
[DON☆ミミー岩本](#)
[Shiraishi So-ichi](#) 05/20

◦ [スマホに躍らされる](#)
[前略、中略、後略](#) 05/18
[赤いオーケストラ荒木](#) 05/17



ミミー号はこちら

JYVA LETTER

No.63 ● 2006/1/1

ジバレーター

PEOPLE ■ 北島和成さん	1
特集 ■ 力を合わせる 社会が変わる～異世代協働による子どもの社会的自立促進フォーラム報告～	2
青年のボランティア活動を支える ■ 明日飛子ども自立の里／調布学園	4
ボランティア365 OBはいま ■ 河島京美	5
私流・若者への関わり方 ■ 足立圭子	5
JYVA REPORT ■ 青少年ボランティア活動推進者セミナー報告／「ライブJ」がスタート	6
体験報告会を開催しました	7
時代＝次代への提言 ■ 太田昌也	7
JYVA INFORMATION ■ ご挨拶／ACTION／THANKS	8

注目を集める郵政民営化法案の影で、連日、国会周辺や委員会の傍聴席で「障害者自立支援法案反対」を訴える障害者や支援者の輪があったが、障害者施策を抜本的に見直す法案は可決された。「食べる、飲む、着替えることにまで一割負担」利用者への影響を自分のことのように心配する。「一般の人は働きにいくのに職場で利用料を払いますか？ そんなことないでしょ。併せて生活するのに最低限のことにまで負担が…」憤りを感じながらも、穏やかな口調で語りかける北島さん。やさしい物腰、対照的な鋭い眼孔、大きな体と若白髪が際立つ。熊本県にある知的障害者通所授産施設に勤務し、自らの夢である「作業所」をひとりで立ち上げたつれあいと暮らす。北島さんの日常は障害者とともにある。

「目が悪いなら、眼鏡が必要でしょ。障害をもった人たちに手を貸すのは、必要としているから。ふつうの人たちですよ」。何も変わらないことなのだ。

高校卒業後、地元企業に就職した。設計屋だった。偶然見つけた新聞記事「九州青年の船」。上司に掛け合い有給と特別休暇を1週間ずつ得て、中国を訪れた。

船に乗り合わせた青年団をはじめ、地域で活動を行っている人たちとの出会いが転機となった。帰国後、アフター5や休日を利用して社会教育にのめり込んだ。仕事と活動を両立する日々。県費で参加した研修でボランティア365を知った。勤めて10年の実績を楯に会社との新たな休暇交渉を行うが、壁は厚かった。「ボランティア元年」といわれた年、企業

では「ボランティア休暇・休職制度」の環境整備が進んだ。時期が遅ければ、休職できて今も会社にいたかもしれない。人生の岐路になった。

福祉施設に行ったこともなかった北島さんが派遣されたのは北海道の剣淵町にある障害者施設。国内初の完全個室の入所施設であった。福祉について白紙の北島さんにとって、福祉の基準は剣淵での体験だ。1年が経つころ、おぼろげながら福祉の道を選択していた。地元の施設を廻ると、自分の基準が他では理想であることに驚いた。たまたま遊びに訪れた同期のボランティアが活動した団体で、「10年、15年先のことを見据えて、今を語る」代表の魅力と、任意団体から社会福祉法人認可申請をする話に惹かれた。北島さんのチャレンジ精神に火がついた。対象が必要としているから動く。無から有をつくり出す。北島さんの心意気である。

福祉の仕事について10年。施設とともに歩んできた。県の委託事業を行っていた無認可施設の法人化に始まり、デイサービス、ホームヘルプ、グループホームなど利用者のさまざまなニーズにあわせ、多機能なサービスを展開してきた。

障害者自立支援法でどんな変化が起るのか、不安はある。しかし利用者と歩んできた経験は、「時代の流れにそったサービスを、適切にやっていくことが大切」という教訓を刻んできた。今後生じる難題にも、「利用者のために、関係機関を説得できればいい」。大きな体は障害者の守護神に見えた。

(取材／石川)

常に「利用者のために」を考えて

PEOPLE

びーぶる

社会福祉法人青いりんごの会
銀河ステーション
特定非営利活動法人なすな工房

きたじまかずなり

北島和成さん

「利用者あつてのサービス、
施設に利用者を
あわせるのではない」
社会情勢の変化に
憂慮しつつ、信念を貫く
ボランティア365OB。



<http://www.ginga-station.com/>
<http://www.nazuna.or.jp/>

日・タイ2青年が奮闘中

剣 淵

初体験にも「頑張ります」

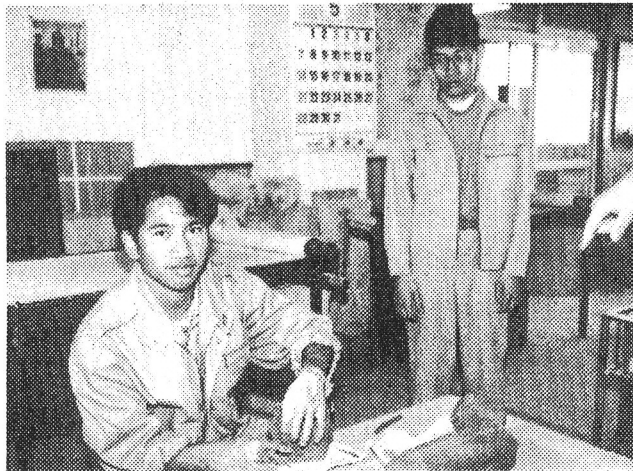
西原学園、北の杜舎で活躍

【剣淵】社団法人・日本青年奉仕協会が行う派遣事業を通じ、北島和成さん(三ハ)佐賀県、スクニミト・ブラウィットさん(三ハ)タイの青年ボランティア二人が、西原学園、北の杜舎で活動中だ。来年二月まで滞在し、障害者福祉の現場を中心に、入所者の活動を助けける一方、自らも大いに体験を深めるプログラム。初めて経験すること多いが、入所者との共同生活を楽しくむなと新しい生活にもすっかりなじみ、「頑張ります」の声も弾ませている。

同協会では、一年間ボランティア計画のプログラムとして、各地に青年を派遣している。派遣先——性高めめるのが狙いで、参加青年の社会性、人間性——派遣先も青少年教育、福



北の杜舎で農業活動を支援する北島さん(左から2人目)と同施設の仲間



ウィットさんは、西原学園で療養の活動を手助けしている

祉、産業、自然保護——など多彩。九年前からは、アジア交流事業にも取り組み、アジア各国からボランティア青年を受け入れ、国内青年とともに各地へ派遣している。

剣淵町では、西原学園が同協会の会員登録を行っており、昨年度に初めて東京から大学生の藤田研さん、タイの団体職員ニッさんの二人を受け入れた。二人は二月まで活動し離町。今回、これに続く形で新しく二人が訪れたもの。

北島さんは、佐賀県から来町。県のユースワーカー協会などで、会社勤めのかたわら青少年の育成ボランティアとして活動してきた。一方、愛称がウィット、というブラ

ら。コンケン大学の大学院生で、昨年度訪れたニッさんとも顔見知り。日本や剣淵のことも教えてもらったという。

ともに来年二月まで滞在。現在、北島さんが北の杜舎、ウィットさんが西原学園でボランティアとして、入所者の作業活動などを支援しているが、両施設では二人にさまざまな体験を深めてもらおうと、十月からは活動施設を交代してもらうプログラムを計画している。障害者福祉の現場での活動が中心となるが、両施設では絵本の里づくりはじめ、まちづくり活動にも積極的にかかわっており、こちらの方面でも活動してもらいたいと考えてだ。「入所者にとっていい刺激になる。大い

に交流し、体験も深めてほしい」と二人のこれからに期待している。

四月下旬に来町した二人は、入所者四人といっしょに現在、寮で共同生活を送っている。ウィットさんはボランティアのほか週二回、剣淵高で農業に関する講義を聴講するなど、新しい生活にも意欲的。サッポロビールの大ファンにもなったという。北島さんも、入所者とはすっかり打ちとけ、口をついて冗談も飛び出すほど。「福祉ボランティアは初めてですが、すんなりと入れました。何かをつかめるよう頑張っていきたいですね」(北島さん)と張り切っている。